

全学共通カリキュラム

川崎哲

kawasaki@peaceboat.gr.jp

<http://kawasakiakira.at.webry.info> (ブログ)

ツイッター @kawasaki_akira

科目名

平和と人権

平和をつくる地球市民になる

授業の目標

戦争と平和の問題を、国際関係によってのみではなく、人間の生きる権利の問題としてとらえる視点を獲得する。軍備の縮小と撤廃、戦争や暴力の予防に取り組んでいる世界各地の市民、NGO、政府、国際機関等の取り組み例を知り、その概念を理解する。同時に、日本で起きているさまざまな人権問題や平和・安保政策に関する論争について、世界的な文脈のなかで理解し、自分にできることを考えつつ、自らの意見を持つ。

授業の内容

授業計画に示されたテーマに即して、事例の紹介を含む講義を行いつつ、ディスカッションをとり入れる。毎回、次回授業時まで読んでおくべきテキストの部分や、調べておくべき課題を指示する。宿題を踏まえた発表を行う場合もある。授業終了時にはコメントペーパーを回収する。

授業計画

1. 世界の中の憲法9条
2. 歴史の記憶と和解 ヨーロッパとアジア
3. 東アジア平和共同体は可能か
4. ヘイトスピーチをどう考えるか
5. 広島・長崎、グローバル・ヒバクシャ
6. 原発と人権 福島から考える
7. 核兵器の禁止と廃絶
8. 軍事基地と人権
9. 自衛権、武力行使、「正義のための戦争」
10. テロリズムとは何か
11. 環境、災害、資源と紛争
12. 世界の軍事費、軍事産業、武器貿易
13. 持続可能な発展 地域からの変革
14. 平和活動の方法論

準備学習

毎回の授業の際に次回までの宿題を出します。テキストは極力初回までに用意してください

い。

成績評価方法・基準

出席兼コメントペーパーの内容 30 点。授業中の討論への参加と内容 40 点。最終レポート 30 点。

テキスト

岩波書店編集部編『これからどうする 未来のつくり方』岩波書店、2013
テキストの他、適宜プリントを配布します

参考文献

君島東彦『平和学を学ぶ人のために』世界思想社、2009
川崎哲『核兵器を禁止する』岩波ブックレット、2014
中谷剛『ホロコーストを次世代に伝える
アウシュヴィッツ・ミュージアムのガイドとして』岩波ブックレット、2007

その他（HP等）

川崎哲のブログを適宜参照のこと
<http://kawasakiakira.at.webry.info/>